

# 会津若松市『復興の集い』

会津若松市へ役場機能を移転している大熊町への癒しの提供、NHKドラマ「八重の桜」放送を契機とした京都との文化交流を目的に開催します。ぜひご参加下さい。



## 第1部

京都芸妓・舞妓による舞踊  
東山芸妓による踊り



## 第2部

クロード・チャリ  
ギターソロコンサート

2012年9月28日(金)

[開場] 14:30 [開演] 15:00

会津若松市文化センター「文化ホール」

**入場無料**

整理券が必要です。  
整理券は、会津若松商工会議所にて9月3日から配布します。  
(平日のみ)

■主催 会津若松市「復興の集い」実行委員会(会津若松商工会議所・会津若松市・大熊町商工会)  
 ■共催 会津若松市  
 ■協力 京都商工会議所・京都會津会  
 ■問い合わせ 会津若松商工会議所 総務部 TEL0242-27-1212 会津若松市南千石町6-5

# ごあいさつ

会津若松商工会議所  
会頭 宮森泰弘



平成23年3月11日、突然福島県を襲った大地震、津波、原発事故、そしてそれに伴う風評の四重苦にみまわれ、早や1年半の年月が流れました。この間、原子力発電所の立地地域にある大熊町から町役場をはじめ、多くの町民の方々が仮の町として会津で生活を共にする事となりました。

私たち会津若松商工会議所は、様々な支援活動の中で、震災により低迷する消費活動を活性化するために、大熊町商工会の皆様と連携しプレミアム商品券の発行を行い、売上の一部を大熊町に寄附させていただきましたが、今回は第二弾として「復興の集い」を行う事と致しました。

震災直後より、福島県への支援に対し、京都府並びに滋賀県が中心になって様々な連携事業が行われて参りましたが、今回は京都商工会議所並びに京都府会津会から支援を頂きました。

復興、それは戊辰戦争により市街の三分の一が焼かれ、荒廃した京都を立て直すために奮迅の活躍をしたのが、平成25年1月から放送される大河ドラマ「八重の桜」の主人公・新島八重の兄、山本覚馬なのです。覚馬は京都府顧問、京都府議会議長、そして京都商工会議所会頭をつとめ、復興のための施策の一つとして、世界万国博覧会にならい、日本で初めての京都博覧会を開催し、その目玉として行ったのが「都をどり」でした。「都をどり」は現在京都を代表する春の風物となっておりますが、今回はそれにちなみ、京都を代表する上七軒の舞妓さん、芸妓さんによる舞踊を、会津を代表する東山芸妓さんとの共演、併せて世界の名ギターリスト、クロード・チアリさんの演奏により、しばし震災により痛んだ心の癒しをして頂きたいと企画致しました。

この集いを通して、京都と会津のつながりが一層大きくなり、来年放送される会津と京都を結ぶ大河ドラマ「八重の桜」が成功する事を願うものです。

## 出演者のご紹介

### クロード・チアリ 哀愁のギタリスト

1944年2月11日、仏、ニース生まれ。11歳から独学でギターを始め、16歳でロックバンド「レ・シャンピオン」結成。ビートルズが前座を務める程の人気を得る。1964年、バンドから独立し、ソロのアコースティック・ギタリストとしてデビュー。同年「夜霧のしのび逢い」が世界的に大ヒット一躍スターダムに。その後は、世界各地で演奏活動を行い、哀愁のギタリストとして、多くのファンを魅了する。朝日放送・土曜ワイド劇場「京都殺人案内」(藤田まこと主演)では音楽制作を担当。テーマ曲「夜霧のシルエット」は今も多くのファンを魅了し続けている。阪神大震災では、自らも被害を受けたにも関わらず、全国各地チャリティーコンサートを開くなど、復興活動に協力した。現在も、コンサート・講演・ディナーショー等、多方面に渡り活躍しており、そのCDは世界45カ国以上で発売されている。

### 京都芸妓・舞妓による舞踊 京都最古の花街「上七軒」より

京都には現在、「祇園甲部」「先斗町」「上七軒」「宮川町」「祇園東」の五つの花街があり、それぞれの花街には300年を超える古い歴史があります。その中でも「上七軒」は京都最古の花街です。

室町時代に北野天満宮の再建の際に残った用材を使って7軒の茶店を建てました。これが「上七軒」の由来です。また、桃山時代に豊臣秀吉が北野で大茶会を開いた折に茶店側は団子を献上したところ大いに誉められ、その由来として団子の紋章が上七軒の紋章になっています。

現在、上七軒にはお茶屋が10軒あり、毎年春になると上七軒最大のイベント「北野をどり」、秋には「寿会」が上演され、芸芸を磨き披露しています。

### 東山芸妓による踊り 凛として艶「からり妓さん」

東山芸妓の歴史は長く、そこから独自のしきたりや芸能が先輩芸妓から次の後継者である若手芸妓へきちんと伝承されてきました。そのようにして東山芸妓の歴史は江戸期から続いています。

単に伝統芸や踊りを披露するだけでなく、歴史や文化、ひと、食に関わる時代の伝承者として、現在21名の芸妓が活躍しています。毎年8月10日には「東山温泉・お湯かけ祭り」、お盆には「東山芸妓の夕べ」が開催され、芸妓と身近にふれあう事ができます。